



牛牧小だより

令和7年
1月24日(金)

後期保護者アンケートについての報告

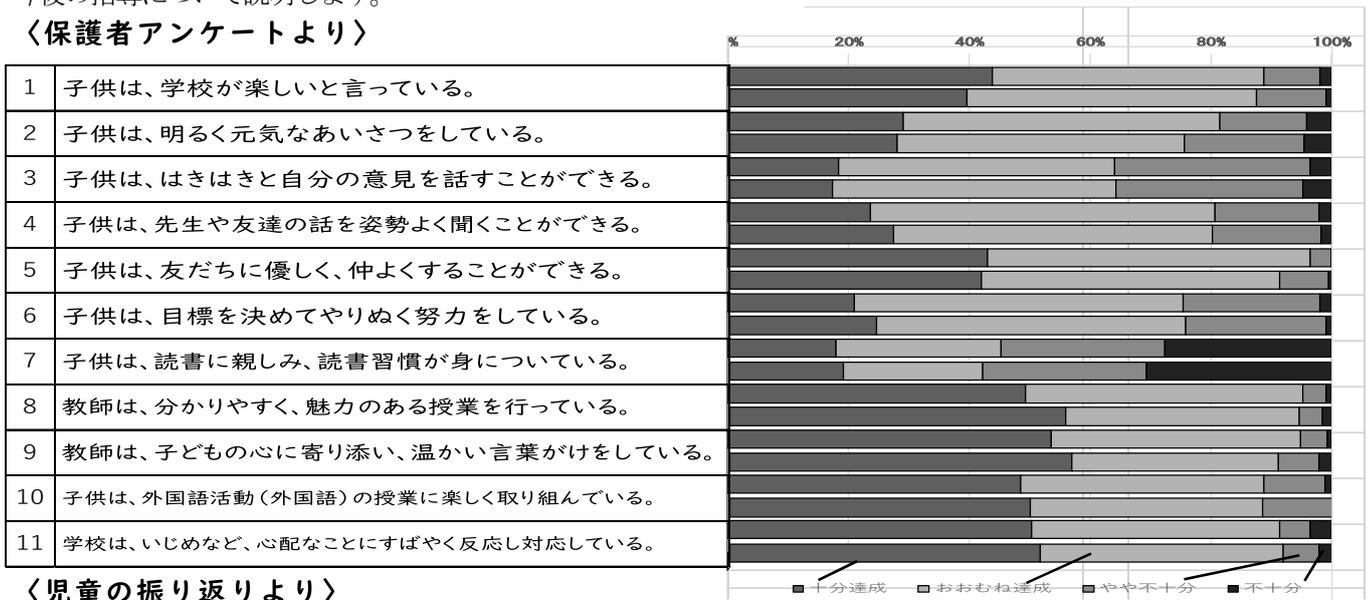
厳寒の候、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。12月には、後期の保護者アンケートをお願いし、351名(64.1%)から回答をいただくことができました。ありがとうございました。

学校の指導に対して、ご意見を多くいただきました。保護者の皆様の温かいお言葉に喜び、厳しいご意見に身の引き締まる思いを感じながら、ご意見を取り入れ、改善すべき点を変え、教育活動を進めていこうとしているところです。

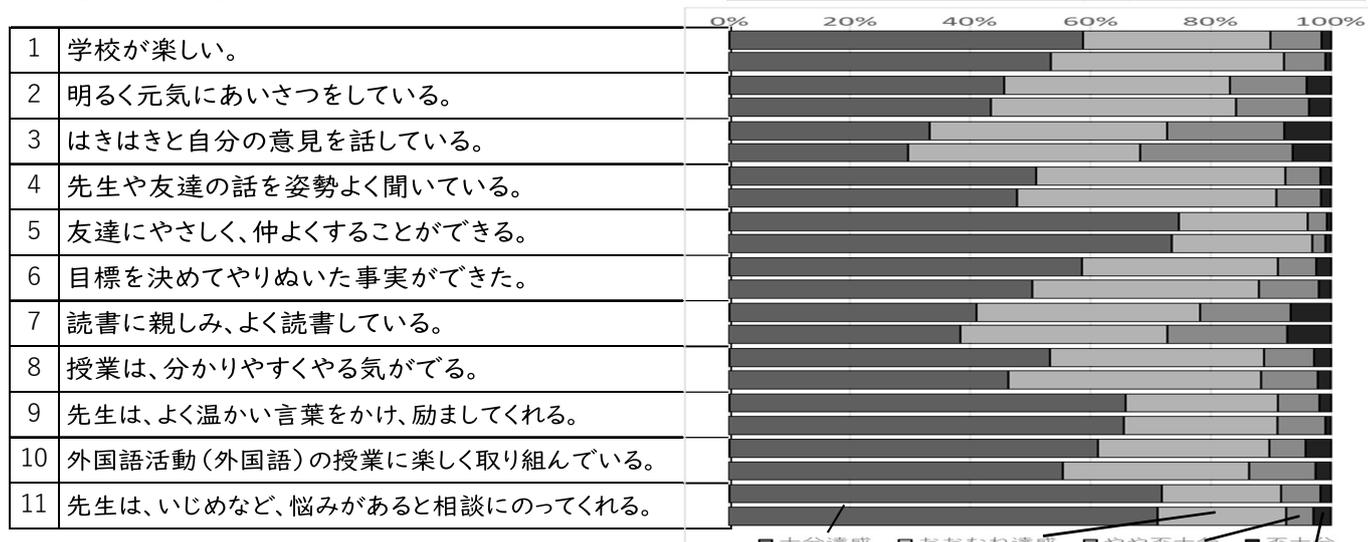
以下に、グラフの結果と、ご意見を中心に、現在の学校の取り組みや今後の指導について説明します。



〈保護者アンケートより〉



〈児童の振り返りより〉



本校の取り組みについて

今回の学校評価では、「子供のよい変化や成長したところ、授業のよい取り組み方など本当に詳しく教えてください、一人一人を大切にしてください。」「子供の話を聞いていると、学級のどの子にも平等で、その子のよさを伸ばそうとされているのが分かる。」「ほめてくださり、叱ってくださり、子供のことを考えてくださってありがたく思っている。」など、本当に温かくうれしいお言葉を多くいただきました。



これは、保護者アンケートと児童のふり返りアンケートとで、同じ内容を前期から比較をして表したものです。

		項目	〇〇の評価 7月	〇〇の評価 12月
①	保護者 児童	子供が学校が楽しいと言っている。 学校が楽しい。	88.8% 90.0%	87.5% 92.1%
②	保護者 児童	子供は、友達に優しく、仲良くすることができる。 友達にやさしく、仲良くすることができる。	96.5% 96.2%	91.4% 97.0%

「学校が楽しい。」「友達にやさしく、仲良くすることができる。」といった項目については、児童の評価がわずかではありますが増えました。また、「やや不十分である。」「不十分である。」と答えた児童がぐんと減っています。先生や学校が、子供を伸ばし育てるために行っている指導や支援、取り組み等に対し、よい評価でした。

《学級・学習にかかわって》

- 「高学年で教科担任制が進み、いろいろな先生に教えていただけるのはよいことだと思うが、自主学習に任せがちで計算ドリルが十分やり切れない状態のまま、テストを実施することもある。家庭学習の見届け方について、不十分である」とのご指摘をいただきました。学校は、児童の学力をつけ、伸ばすところです。今一度、ドリル学習をやり切らせることや家庭学習の見届け方などについて、学校及び学年で確認していきます。

《あいさつ・読書にかかわって》

- 「あいさつ」に関しては、委員会活動であいさつ活動を進めたり、現在では、3年生の児童中心に自主的に児童玄関前で「おはようございます」と声をかけている児童が大勢いたりします。朝の児童玄関前は、大きなあいさつの声が響き、聞いていてとても心地よいです。「十分達成している」「おおむね達成している」と評価した児童は、83.2%から84.3%へとわずかではあります伸びました。しかしまだ、保護者の方々は、よくない評価であることや登校中の地域の方へのあいさつなど、まだまだ不十分であるとのご意見もいただいています。今後も全校であいさつの意義を確認し、あいさつすることを価値付け広げながら指導を進めていきます。
- 「子供は、読書に親しみ、読書習慣が身についている。」という項目については、全校で委員会活動として読書キャンペーンを行ったり、PTAに継続的に読み聞かせをしていただいたりしていますが、保護者の評価は、とても低い傾向にあります。一方で、児童の「読書に親しみ、よく読書をしている。」という項目は、保護者ほど低い評価とはなっていません。学校では、図書室に行って本を借りる機会を多くついたり、空いた時間に読書をしたりすることが多くあります。そのため、児童はよく読書をしているように感じていると考えます。

《その他》

- 「いじめ・心配なことに素早く対応する。」といった項目については、保護者の92.0%、児童の92.6%と9割以上が「十分達成」「おおむね達成」というよい評価を答えています。学校としてもとてもうれしい結果です。今後も、すばやく丁寧に対応していくことを全職員で確認しました。

今後も保護者や地域の皆様のお力を借り、保護者や地域の方々と一緒に児童に寄り添い、声をかけたりかかわったりしながら、児童を指導・支援していきます。よろしくお祈りします。

